

平成 26 年度（第 3 期）通常総会

総会資料



一般社団法人
ブリッジハートセンター東海

一般社団法人ブリッジハートセンター東海

平成 26 年度（第 3 期）通常総会次第

- 日 時 平成 26 年 4 月 11 日（金）午前 10 時から 11 時半
- 会 場 BHCTokai 事務所

1. 開始
2. 代表理事挨拶 ○
3. 定足数の確認
4. 議長選出
5. 議事
 - 第 2 期（平成 25 年度）事業報告に関する件
 - 第 2 期（平成 25 年度）収支決算書承認の件
 - 第 3 期（平成 26 年度）事業方針および事業計画承認の件
 - 第 3 期（平成 26 年度）収支予算書承認の件
6. 閉会

第2期 一般社団法人ブリッジハートセンター東海 事業報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

I. 組織運営（本部）

（1）他団体事務局支援業務

- 1) ブラジル DAY 実行委員会
- 2) HEALTHY FAMILY はままつ

（2）浜松市に委嘱された委員（2013年4月～2014年3月）

- 1) 山城ロベルト：浜松市外国人市民共生審議会

（3）協働・支援事業

- 1) 特定非営利活動法人子育て支援を考える会 TOKOTOKO の家庭訪問の運営・養成マニュアルづくり事業の実施協力
- 2) 浜松外国人医療援助会の浜松外国人学校健診事業の実施協力
- 3) 浜松外国人医療援助会の浜松外国人無料検診事業の実施協力

（4）参加委員会・学会・シンポジウム

- 1) HFA 家庭訪問の運営・養成マニュアルづくり事業委員会
- 2) HFA 家庭訪問浜松地区委員会
- 3) ブラジル DAY 実行委員会
- 4) 第27回日本エイズ学会
- 5) 第21回静岡エイズシンポジウム
- 6) エイズ啓発・支援団体のネットワーク会議



（5）BHCTOKAI ホームページ運営事業

- 1) アドレス：<http://www.bhctokai.jp>
- 2) アクセス数：13900件

（6）総会開催

- 1) 開始日時：平成25年4月27日
- 2) 参加人数：理事3人、監事1人、協力者8人

（7）運営事業

- 1) 多文化共生事業
- 2) 医療福祉支援事業
- 3) 救急人材育成事業



4) 静岡県西部災害時多言語支援センター

II. 多文化共生事業

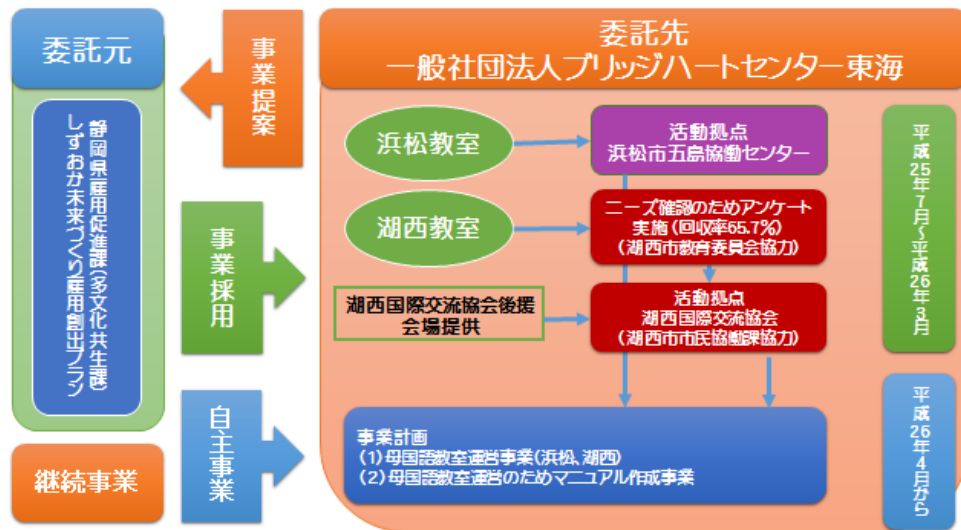
(1) 定住外国人児童母国語教育支援のための教室づくり構築事業

日本生まれ、又は日本で滞在歴が長く、日本語はしっかり話せるが母国語があいまい、又は話せない外国人児童を対象に母国固有の言語や文化を学んでもらいアイデンティティーの確立や親とのコミュニケーションを深める為、母国語・母文化教室を開催しました。



- 1) 運営教室：ポルトガル語教室（浜松・湖西）、
スペイン語教室（浜松・湖西）
- 2) 参加人数：延べ人数 155 人（浜松教室 69、湖西教室 86 人）
- 3) 実施期間：平成 25 年 7 月から平成 26 年 3 月まで
- 4) 事業財源

委 託：8,331,134 円（静岡県委託事業）



(2) 外国人コミュニティ母語教育支援事業

母国語を学ぶことは、単に言葉を学ぶだけでなく、母文化に触れることでアイデンティティーの確立や精神的安定が得られるなど子どもにとって大きな効果があるとされています。多文化共生社会の中で暮らす子ども達に母国の文化や言語、また日本との関わり方などを学んでもらうため、母国語及び母文化教室の運営を行いました。



- 1) 運営教室：スペイン語教室（15 回開催）
母文化（ダンス）教室（12 回開催）

- 2) 参加人数：延べ人数（子ども：210人、保護者（見学）：77人）
- 3) 実施期間：平成25年7月から12月まで
- 4) 事業財源
 - 助成：150,000円（公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金助成事業）
 - 補助：250,000円（公益財団法人浜松国際交流協会補助事業）
 - 自己負担：104,945円（当法人）

Ⅲ. 医療福祉支援事業

(1) 外国人学校の児童生徒を対象とした「UD・福祉」体験事業

外国人学校の児童生徒がUD・地域社会・福祉社会について学ぶ、又は意識を高めるためのプログラムを提供しました。

- 1) 運営講座：「UD・福祉」と「ボランティア」
 についての講座開催
 「アイマスク体験」と「盲導犬」
 についての講座開催

2) 参加人数：外国人学校の高学年の生徒延べ人数 136人

3) 実施期間：平成25年8月から10月まで

4) 事業財源

委託：266,000円（浜松市委託事業）



(2) 免疫機能障害者への支援と理解促進事業

「HIV感染者（免疫機能障害者）に対する差別や偏見をなくすことと感染拡大の防止、感染者への支援体制の確立」することを目的に、「現在すでに支援を行っている団体と連携を図り啓発活動を行うことと、当事者のため匿名で活動をおこなっている団体を発掘しHIV陽性者やAIDS発症者の社会進出への支援体制の構築」を実施しました。

1) 運営事業：啓発及び支援検討委員会（4回開催）

啓発活動への協力事業の実施（数カ所参加）

感染者への支援体制の構築事業の実施（100回開催）

啓発活動及び感染者支援情報整理及び発信事業の実施（多言語のホームページ作成・公開、アプリ開発）

啓発及び支援活動報告会の参加（学会とシンポジウム）

事業報告発行（1000部）

2) 実施期間：平成25年6月から平成26年3月まで



3) 事業財源

助 成：5,195,000円（独立行政法人福祉医療機構助成事業）

自己負担： 33,165円（当法人）



IV. 救急人材育成事業

(1) 日本語を母国語としない青少年（市民）のための災害時の応急処置法の構築事業

災害等が発生した時、外国人は言語能力・情報収集力に乏しく、災害弱者として見られがちですが、正しい情報を得て日本人との意思疎通が図れると、逆に支援活動を行うことが可能となります。外国人市民がただのお客様で終わるのではなく、地域住民の一人として活躍していけるようにしていかなければなりません。少子高齢化社会の日本において高齢者が集住する団地に同じように居住する外国人の存在は大きいことから、外国人市民の意識を変えるためにまず若者たちの意識を変えていき、若者から大人へと伝わる形を構築しました。



- 1) 運営講座：ワークショップⅠ「上半身の怪我の程度・部位に応じた応急手当の方法」
ワークショップⅡ「下半身の怪我の程度・部位に応じた応急手当の方法」
ワークショップⅢ「心臓マッサージ・人工呼吸の方法」
ワークショップⅣ「AED の使用方法」
ワークショップⅤ「簡易担架の作り方、患者の状態に応じた搬送方法」
ワークショップⅥ「すべての応急処置法を実践形式で復習する」

2) 参加人数：延べ人数 116 人（6 回開催）

3) 実施期間：平成 25 年 8 月から 12 月まで

4) 事業財源

助 成： 50,000 円（公益財団法人はましん地域振興財団助成事業）

補 助：250,000円（公益財団法人浜松国際交流協会事業）

自己負担：208,622円（当法人）

V. 静岡県西部災害時多言語支援センター

(1) 緊急時のケアと救急車についての講話

外国人市民が日本語を話せないとき、緊急時にどのような行動をすればよいかのプログラムを組みました。

1) 運営講座：119と救急車、119に電話する時に必要な情報、日本語を話せない時に自分は何をできる、現場から病院までの流れ

2) 参加人数：25人（1回開催）

3) 実施期間：平成25年10月から平成26年1月まで

4) 事業財源

自己負担：14,000円（当法人）



(2) MINAMI-KU 災害多言語情報ボックス運営事業

災害が発生した時に行うべき行動を細分化して掲載、言語は日本語とポルトガル語、スペイン語、英語のホームページを運営しました。

1) 運営内容：①普段から気をつけておくこと、②地震発生時取るべき行動、③避難をする時の注意事項、④避難後に取るべき行動、⑤AED（自動体外式除細動）について、⑥AED南区町別一覧表、⑦心肺蘇生・AEDの手順、⑧三角巾の使い方、⑨簡易担架の作り方、⑩一次避難地について、⑪二次避難所について、⑫津波避難ビル、⑬津波避難ビル町別一覧表、⑭防災啓発組織一覧表のデータ更新。

2) アドレス：<http://bhctokai.jp/minamiku/>

3) 事業財源

自己負担：0円（当法人）



第3期 一般社団法人ブリッジハートセンター東海 事業計画(案)

平成26年4月1日～平成27年3月31日

I. 組織運営（本部）「財源：公共職業安定所助成事業（決定）170万円」

（1）他団体事務局支援業務

- 1) ブラジル DAY 実行委員会（継続事業）
- 2) HEALTHY FAMILY はままつ（継続事業）
- 3) 佐々木松次郎美術支援後援会（新規事業）

（2）協働・支援事業

- 1) ブラジル DAY 実行委員会の2014年ブラジル DAY in Nagoya 開催の実施協力（継続事業）
- 2) HEALTHY FAMILY はままつの家庭訪問活動の実施協力（継続事業）
- 3) 浜松外国人医療援助会の浜松外国人学校健診事業の実施協力（継続事業）
- 4) 浜松外国人医療援助会の浜松外国人無料検診事業の実施協力（継続事業）

（3）BHCTOKAI ホームページ運営事業

- 1) アドレス：<http://www.bhctokai.jp>（継続事業）

（4）有料協賛会員制度開始

- 1) 個人協賛会員目標 20人
- 2) 団体協賛会員目標 5団体

II. 多文化共生事業

（1）多文化共生社会における外国人市民の治療に関わる医療及び福祉支援制度の日本語教育事業

「財源：文化庁委託事業（決定）198万円」

- 1) 外国人市民の治療に関わる医療及び福祉支援制度検討委員会開催（新規事業）
- 2) 外国人市民の治療に関わる医療の日本語講座開催（新規事業）
- 3) 福祉支援制度の日本語講座開催（新規事業）
- 4) 多文化共生社会における外国人市民の医療と福祉支援制度に関するシンポジウム開催（新規事業）

（2）母国語教室の運営マニュアル及び教材の作成事業

「財源：公益財団法人日本財団助成事業（決定）55万円」

- 1) 母国語教室の運営マニュアルの作成（新規事業）

（3）母国語による子どもの教育環境システムづくり構築事業

「財源：公益財団法人はましん地域振興財団助成事業（決定）5万円、公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金助成事業（申請中）、公益財団法人浜松国際交流協会補助事業（申請予定）」

- 1) 母国語教室開催 in 浜松 (継続事業)
- 2) 母国語教室開催 in 湖西 (継続事業)

Ⅲ. 医療福祉支援事業

- (1) 免疫機能障害者への支援と理解促進事業 (仮称)
「財源：独立行政法人福祉医療機構助成事業 (申請中)」
 - 1) 啓発及び支援検討委員会 (4 回開催) (継続事業)
 - 2) 啓発活動への協力事業の実施 (数カ所参加) (継続事業)
 - 3) 居場所づくり支援事業の実施 (120 回開催) (継続事業)
 - 4) セクシャルマイノリティのためのピア養成講座の開催 (20 時間コース) (新規事業)
 - 5) 啓発及び支援活動報告会の参加 (学会とシンポジウム) (継続事業)
 - 6) 事業報告発行 (1000 部) (継続事業)
- (2) 啓発活動及び感染者支援情報整理及び発信事業の実施 (多言語 (4 言語) のホームページ運営管理、アプリ運営管理) (継続事業)
「財源：自主事業」
- (3) エイズ啓発・支援団体のネットワーク会議 (新規事業)
「財源：自主事業」

Ⅳ. 救急人材育成事業

- (1) 日本語を母語としない市民のための災害時の応急処置法の構築事業
「財源：公益財団法人浜松国際交流協会補助事業 (申請予定)」
 - 1) ワークショップ計 6 回開催 (継続事業)

Ⅴ. 静岡県西部災害時多言語支援センター運営事業

- (1) 事業 (旧西部災害時多言語支援センターWESTERN 含む) から組織化への切り替え、災害時専門組織として独立する。平成 26 年 3 月 31 日で事業として終了。4 月 1 日から独立組織として開始する。当法人からアドバイザー兼役員として 1 名参加する。